

2023. 2. 20

## 第4回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」で「金賞(環境大臣賞)」を受賞！

静岡銀行（頭取 八木 稔）と静岡県信用保証協会（会長 吉林章仁）では、環境省が ESG 金融の普及・拡大をめざして開催する第4回「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門において、最高位である「金賞（環境大臣賞）」を共同で受賞しましたのでお知らせします。



### <「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」とは>

- ・環境・社会・経済に対してインパクトを与える取り組みを促進する投資家・金融機関、企業などを評価し、広く社会で共用することにより、ESG 金融の普及・拡大とその質の向上を目的として環境省が実施する表彰制度
- ・5 部門（投資家部門・間接金融部門・資金調達者部門・金融サービス部門・環境サステナブル企業部門）が設けられている

静岡銀行が受賞した「間接金融部門」は、ESG 要素の考慮によるお取引先の価値向上や金融・非金融の取り組みを通じて、産業の競争力強化や地域循環共生圏の構築等に資するポジティブなインパクトを創出している取り組みを表彰するものです。

今回の受賞では、先駆的に取り組んできた中小企業向け「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」をさらに発展させ、個社の強みを重視した IMM 体制の構築※に努めたことや、静岡県信用保証協会との連携による「SDGs 支援保証制度」の開発、同制度の利用を県内全域に広め中小企業の SDGs 推進を支援したことなど、外部機関との協業や情報発信を通じて、今後も地域内外への波及性が期待できる点が評価されました。

静岡銀行では、地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、従来から、持続可能な地域社会づくりに資する金融サービスの提供に努めてきました。2021年10月には、こうした取り組みのさらなる強化をめざして「サステナブルファイナンス目標」を設定し、お客さまの ESG への取り組みを支援する資金供給に取り組んでいます。

今後も、グループが一体となって、気候変動対応や脱炭素化などお客さまの社会課題解決を支援することで、地域とともに持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいく方針です。

※IMM：Impact Measurement and Management（インパクトの測定・管理）の略。

静岡銀行では、2022年7月に採択された環境省の「ESG 地域金融促進事業」を通じて、地域のインパクトの可視化に向けて取り組んでいます。

<ご参考>サステナブルファイナンス目標「2030年度までの累計実行額 2兆円（うち環境関連ファイナンス 1兆円）」

	2021年度 目標	2021年度 実績	2022年度 目標	2022年度 第3四半期末実績	2022年度 進捗率
サステナブルファイナンス	1,000 億円	1,133 億円	1,150 億円	2,477 億円	215%
うち環境関連ファイナンス	500 億円	547 億円	575 億円	1,077 億円	187%